



日々革新！起そう 価値ある変化 ～自立した地域主権社会の形成へ向けて～

新潟ブロック協議会会員大会 2005年09月10日 土曜日



社団法人日本青年会議所北陸信越地区2005新潟ブロック協議会会員大会「新潟復興元年 新潟Ambitious! Jin 燕三条～出会えたあなたに感謝!～」が9月10日(土)に燕市文化会館で式典を行われ、懇親会には場所を移し、新潟県県央地域地産産業振興センターで盛大に行われました。式典前には日本青年会議所・高竹会頭をお招きし、長きに渡る日本青年会議所活動のお話など、様々な角度からお話を頂戴する形となり我々メンバーには大変有意義な時間となりました。そして場所を式典会場に移し、吉沢会長の挨拶の中では震災からの1年間を振り返り、強い復興元年のメッセージを会場全体に残されました。その後、次年度新潟ブロック協議会会長予定者に小千谷JCの中澤忍君が選出されました。最後のブロック褒章におかれましては当新潟JCからは高田委員長が1分間という限られた持ち時間の中、8月例会のサンドクラフト事業をジャスト1分で事業の醍醐味を会場全体にPRする事ができました。大変緊張感のある大役お疲れさまでした。そしていよいよ待ちに待った大懇親会では、ゲストに佐々木いさおさんをお招きし、懐かしのアニメソングを加茂JCカモレンジャーと競演し会場を興奮の渦へと変えて行きました。会終盤には、当協議会と一緒に創り上げてきた委員長である新潟JCの中野真市朗君の奥様とお子様が登場し、奥様から全メンバーに「JCに対する想いと今まで出会えたメンバーに感謝している」という生前の弁が述べられました。新潟Ambitious! これからも新潟ブロック協議会が忘れず引き継いでいくことでしょう。そして最後に、本会を支えてくれた新潟ブロック協議会出向の幹事の石井君、森岡君、小泉君、花野君、心に残る忘れられない、すばらしい会員大会の設営を有難うございました。

オリエンテーション委員会9月公開委員会 2005年09月17日 土曜日

9月17日(土)ホテルイタリア軒にて、オリエンテーション委員会9月公開委員会人間力開発プログラム(圧縮版)が開催されました。社団法人日本青年会議所人間力開発プログラム実践委員会より派遣して頂きました林干晃ヘッドコーチ、野口隆雄コーチ、久保田寛コーチ、本川祐治郎コーチ、鈴木芳宗コーチの5名をお迎えし「人間力探求プログラム」「人間力発見プログラム」「人間力実践プログラム」の三部構成のプログラムで行われました。自分の性格を見つめ直したり、身の回りの事を改めて発見したり、相手の魅力を最大限に引き出すことを考えたり……等など、6時間に渡る長丁場ではありましたが、コーチの皆様からの熱心且つユーモアを交えた指導もあり、時間の長さを感じさせず、色々な事を見つけていき、人間力を高めていく事が出来ました。コーチの皆様、そしてオリエンテーション委員会の皆様、本当にお疲れ様でした。



9月例会 2005年09月21日 金曜日

9月21日(水)新潟ユソンプラザにおかれて9月例会、題して「社会起業家を応援するファンドを知ろう」～金融に学ぶ経営者資質向上とは～が開催されました。私たち社会起業家として取り組むためには、今まで経営品質をとおして経営者としての志、組織と仕組みの良さ、そして常に革新していく事を学んで参りましたが、本例会では、そこに必要となってくる資金調達というプロセスを整理し、直接金融の存在を学び、これがいかに経営革新に必要となってくるかという事に焦点があてられました。プログラムは二部構成となり、第一部では、NPO社会起業家ビジネススクール専務理事の小玉真一郎先輩をお招きし、社会起業家としての必要なものの中に「志」だけではなくそこに伴う「スキル」も非常に重要となってくる事を学び、そこには常識を壊す考え方やチャレンジをする事が最も大切だという熱いメッセージを頂きました。第二部では、小玉先輩の他にも新潟経済同友会・専務理事の水間秀一氏と日本政策投資銀行新潟支店・次長の斎藤俊幸氏もお招きし、パネルディスカッション形式で執り行われました。小玉先輩からは変化し続ける社会のウオッチャーに対し、自社の商品・サービスが価値となる利益構造ができているのか? 水間氏からは自社の商品・サービスを強く愛し売っていくのか? 斎藤氏からは市場ニーズに対してのコンプライアンスと地域(ミクロ)との関わり、そして発進も非常に重要になると各者から私たちが社会起業家として取り組んでいく為に、非常に貴重なご意見を頂戴するかたちとなりました。藤田委員長をはじめとします経営者資質向上委員会の皆様、本年度前半の志の学びから、今回のファンドについての学びまで私たちメンバーに気づきのステップアップしていくストーリー性を持ったかたちで設営して頂き大変有難うございました。社会起業家として取り組んでいく為にメンバー全員が志だけではなく、また一段、スタディング出来てきた例会ではなかったでしょうか。大変お疲れさまでございました。



